

にぎやかに供養

今泉賽の河原例大祭



今泉賽の河原霊地で、6月23日(火)に祖先と仏の霊を供養する「今泉賽の河原例大祭」が、地域の住民や関係者が多数訪れて盛大に行われました。

この「今泉賽の河原例大祭」は、興国元年(1340年)に起こった大津波と、応永28年(1421年)に起こった動乱によって、今泉地区の多数の人々が犠牲になったため、残る人々が地蔵尊堂を建て、亡くなった御霊を供養したのが始まりとされています。

例大祭当日は曇り空で、時折



強風が吹き付ける天候でしたが、薄市小学校の華やかな鼓笛隊演奏をオープニングに、供養祭と

イタコの口寄せ、登山囃子・「源組」よさこいソーラン・中里中学校吹奏楽部の演奏披露が行われ、さらに夜は、鎌田幸男さんのコンサートと生演奏によるカラオケといった多彩な行事が、にぎやかに行われました。

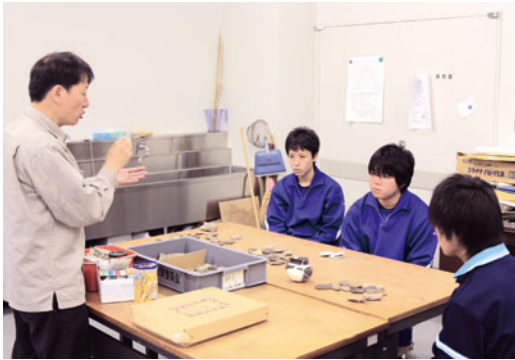
参加した住民からは、「元気があるよさこいでよかった。」「吹奏楽部の演奏は、パフォーマンスがあり、昨年よりよかったです。」「吹奏楽部がコンクールに出るようなので、金賞目指してがんばってほしい。」など、先祖の方々も喜ぶ楽しい1日になったようです。

インターンシップ事業

金木高校生徒が博物館で仕事体験

金木高校の2年生が、将来の進路や職業を選ぶときに役立つよう、町内のお店や施設で仕事を体験しました。こういった事業は「インターンシップ」と呼ばれ、県内の高校で広く行われています。

このうち、博物館では3人の



男子生徒(木村亘さん、齋藤一也さん、野上智弥さん)が博物館の様々な仕事を体験しました。3人は拓本を取る作業を体験しましたが、「細かい作業で難しい。(木村さん)」「博物館の裏は意外に広い。(齋藤さん)」「カウンターだけでなくこんな業務があることに驚いた。」「野上さん)など、様々な感想があったようです。

「振り込め詐欺」根絶を目指して

決意表明と特別広報委員を委嘱

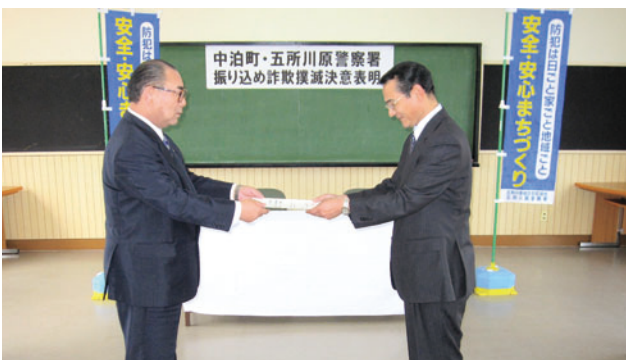
6月23日(火)、役場青年研修所で「振り込め詐欺」撲滅の決意表明と特別広報委員の委嘱状交付が行われました。

町長と五所川原警察署長による「振り込め詐欺」撲滅に向けた決意が表明され、その後、「振り込め詐欺撲滅特別広報委員」に委嘱される木村巖さん(金多豆蔵人形劇3代目人形師)に委

嘱状が手渡されました。

近年の振り込め詐欺は巧妙化し、平成20年度の被害額は全国で約276億円、青森県でも約1億5000万円となっており、五所川原警察署管内でも約860万円の被害が発生しています。特別広報委員に委嘱された木村さんは、「公演にこの問題を取り入れたりして、振り込め詐欺撲滅のために役立てたい。」と語っていました。

なお、小泊地域の白岩隆逸さん(町老人クラブ連合会会長)も、特別広報委員に委嘱されています。



環境問題標語で 子どもたちが 表彰を受取る

6月21日(日)、中央公民館でつがる北西ロータリークラブが主催した「環境問題標語」の表彰式が行われました。

社会の意識の高まりもあってか、より具体的な標語が数多く見受けられ、地球環境に対する問題意識が感じられる標語でした。

この標語を肝に銘じて、私たち大人も実践したいものです。

各賞の受賞者は、次のとおりです。(ロータリー賞以外は、町内の受賞者のみ掲載しています。敬称略)

ロータリー賞

市浦小6年 三上 華奈
「守ろうよ 地球はみんなのお母さん」

中泊町町長賞

小泊中2年 山田 瑠唯
「守ろうよ 森はみんなを助けてる」

中泊町教育長賞

中里中2年 佐野 雅也



「やめましょう ポイすて
わら焼き むだ使い」

優秀賞

中里小6年 小野 千慧
武田小6年 石沢 千帆
薄市小6年 小山内実来
小泊小6年 鍋田野々香

優良賞

中里小6年 小野 晴加
〃 5年 米塚 結衣
武田小6年 新岡 大知
〃 5年 秋谷 菜々
薄市小6年 今 健瑠
〃 5年 佐々木大空
小泊小6年 柏崎 翔

“人権の花”運動で 花の苗を贈呈

中泊町と町人権擁護委員が、町内小・中学校に花の苗などを贈呈しました。

また、各学校を代表して6月8日(月)に小泊小学校で、花の苗の贈呈式を行いました。

贈呈式の後、児童たちがプランターにペチュニアやペコニアなどの花の苗を移植しました。



「国が持っている地方のイメージと実態にギャップがあるので、現場を知った上での政策が必要。」(津田さん)、「中泊町の人々が明るく温かいことは、将来こ

国家公務員が 町で業務体験

6月15日～19日の4日間、町では国家公務員の研修を受け入れました。

受け入れたのは、松田照功さん(警察庁)、津田理絵さん(財務省)、永野正千さん(国土交通省)の3人で、役場の業務や地元農家での農業体験、海岸に漂着したゴミ拾いなどを体験しました。

研修を終えた3人はそれぞれ、「合併後も歳入確保が難しい現状がよくわかった。」(松田さん)、

第5回チャリティ ゴルフ大会開催

6月20日(土)、津軽カントリークラブ百沢コースで、5回目となる中泊町チャリティゴルフ大会が開催されました。

参加した99名のゴルファーから集まったチャリティ金は、次の5団体に贈呈されます。



- ・中泊町陸上競技協会
- ・中泊町相撲協会
- ・中泊町中里柔道会
- ・新岡精弥杯争奪剣道大会実行委員会
- ・中泊町卓球協会



田中・岩田組が 青森県ジュニアソフト トテニス選手権優勝

6月13日(土)に、おいらせ町いちよう公園テニスコートで開か



れた青森県ジュニアソフトテニス選手権で、中泊ジュニアクラブ所属の、田中大夢(中里小5年)と岩田大地(中里小5年)のペアが、見事に優勝しました。

2人は、8月6日〜9日に、岐阜メモリアルセンター長良川テニスプラザで行われる全国小学生大会に参加することになりました。青森県代表として活躍することが期待されます。

なお、中泊ジュニアクラブでは、会員を募集しています。興味のある方は、木・土の午後7時から9時まで体育センターで練習していますので、見学に来てください。ラケットは用意しています。

卓球で全国大会 出場を報告

卓球で全国大会出場を果たした中里クラブの皆さんが、6月2日(火)町長室を訪れ、全国大会への出場を報告しました。村上莉羽さん、福士鈴奈さん、工藤彩さんの3名が、神戸で行われる全日本卓球選手権大会へ出場します。

役場を訪れた村上さんと福士さんは、以前にも全国大会に出場しており、村上さんは今回で5回目、福士さんは4回目という全国大会出場常連です。

2人は全国大会に向け、「全国大会が楽しみ。大会を頑張りたい。」と話し、目標は「全国大会優勝!」(村上さん)、「今年最後なので、ベスト8が目標。」(福士さん)と意気込んでいました。



静和園だより

慰問

●「中里幼稚園」代表・吉田 巖
子供赤十字登録にちなんで、園児達が花束を持って来園。又、ピアノ演奏も披露してくれました。

●「中里小学校」校長・高橋裕幸
運動会にちなんで伝承部の児童が来園。宮川獅子舞、登山囃子等を披露してくれました。

●「山百合会」会長・粕谷ミキエ(つがる市)
会員10名来園。14回目の慰問で、創作舞踊等を1時間にわたり披露してくれました。

ボランティア

●「中泊町老連中里支部女性部」代表・宮越リシイ
会員10名来園。花壇へ花苗移植作業をしてくれました。



寄贈

●竹内恭一(中泊町)……花の苗

社会保険事務所から 老齢基礎年金の繰上げ請求は慎重に

老齢基礎年金は65歳から受給するのが基本ですが、ご本人が希望すれば60歳からでも受給することができます。しかし、受給する年金額は、65歳から受給する年金額に比べ減額されます。減額率は、繰上げ請求をする月によって異なり、1か月早く請求する毎に0.5%ずつ減額されることとなります。なお、減額された年金額は一生続きますので、注意が必要です。

寡婦年金の受給権はなくなります。また、老齢基礎年金を繰上げ受給している人は、寡婦年金の請求はできません。

(3) 繰上げ請求後に初診日がある場合や、障害の程度が重くなり障害基礎年金を受給できる障害の程度になったとしても、障害基礎年金は受給できません。

◆(例1)60歳0か月で繰上げ請求した場合

60か月(5年×12か月)繰上げ請求するため、30%(60ヶ月×0.5%)減額されます。

◆(例2)64歳9か月で繰上げ請求した場合

3か月繰上げ請求するため、1.5%(3か月×0.5%)減額されます。

【その他の主な注意事項】

(1) 繰上げ請求した後に請求の取消しはできません。
(2) 寡婦年金の受給権者が老齢基礎年金を繰上げ請求すると

(4) 65歳前に遺族年金の受給権が発生した場合、老齢基礎年金と遺族年金のどちらかを選択することになります。多くの場合は、遺族年金を選んだ方が有利であるため、65歳まで減額された老齢基礎年金が支給停止となり、支給停止が解除となった後も減額された金額のままとなります。
(5) 繰上げ請求後は、国民年金の任意加入被保険者になれません。これらを考慮していただき、老齢基礎年金の繰上げ請求は慎重にお考えください。
※昭和16年4月2日以降に生まれた方を対象とした内容となっています。ご了承願います。